

探  
花  
入  
集





あらの松花

平一 彦那

福寿州

路友



五葉





寒乃梅ふらふ

之能楽



山名月

子三便  
野々々



可鳳

夏稼乃

多と押へ

小季

落石  
草玉



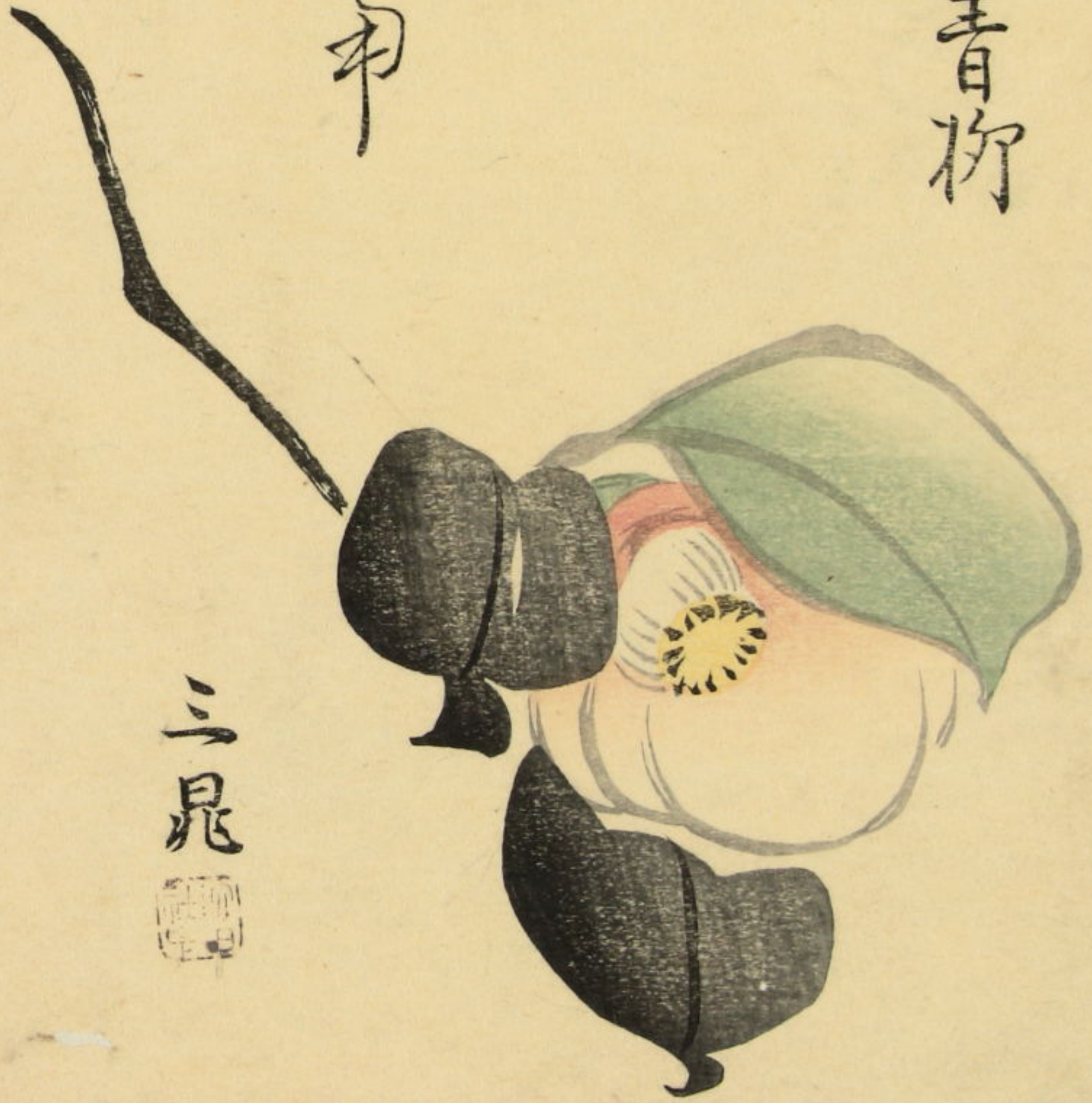
女  
青柳

具多標皆

同

八子代了

椿之布



三晁



若草花下

大甫

三骨七土筆



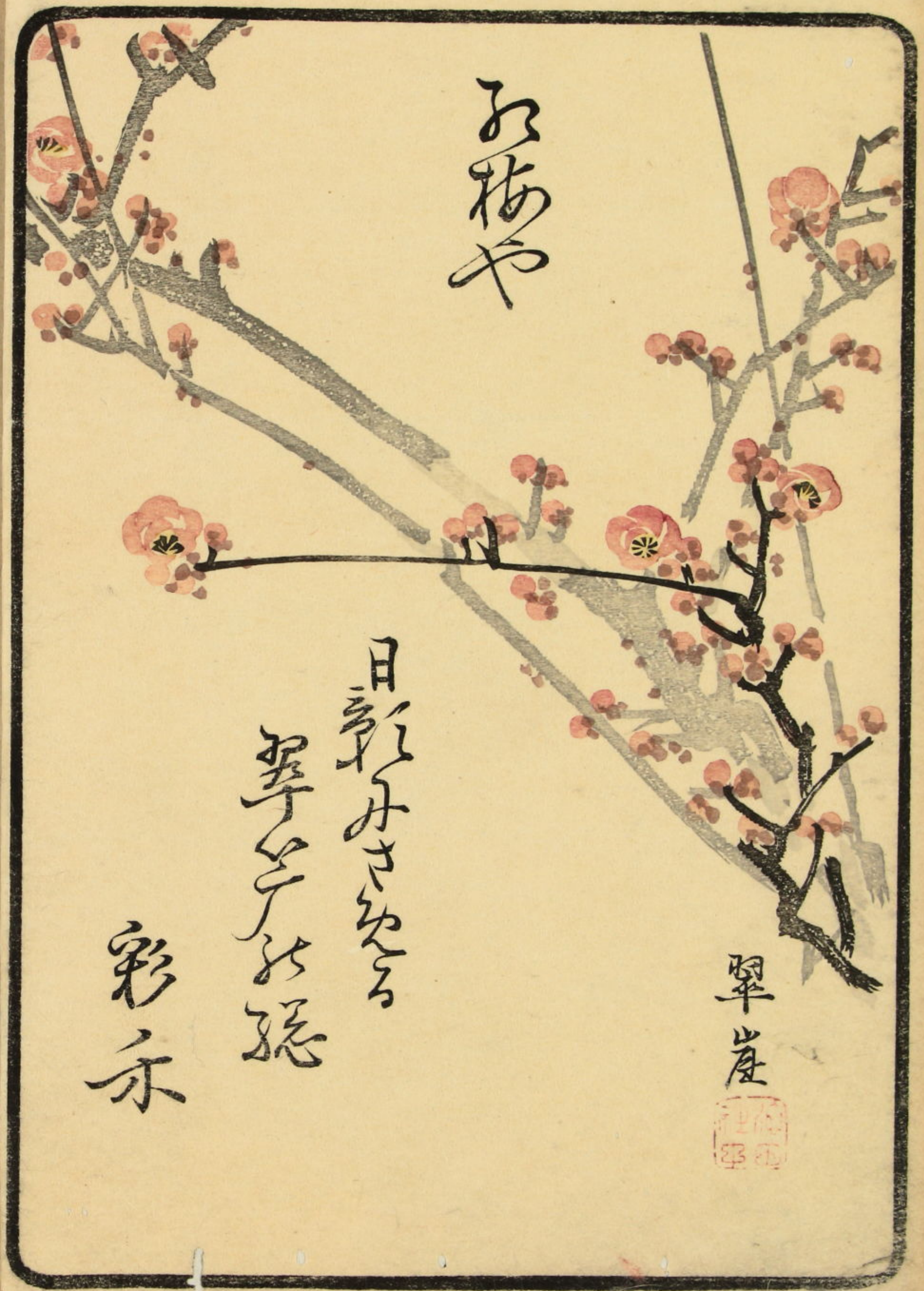
路貞






書  


蕭々英也  
 長心  
 竹  
 空英



小梅也

日新  
 翠  
 彩亦

翠崖  




茶のつぼみ

抱きしめ

竹南



茶のつぼみ

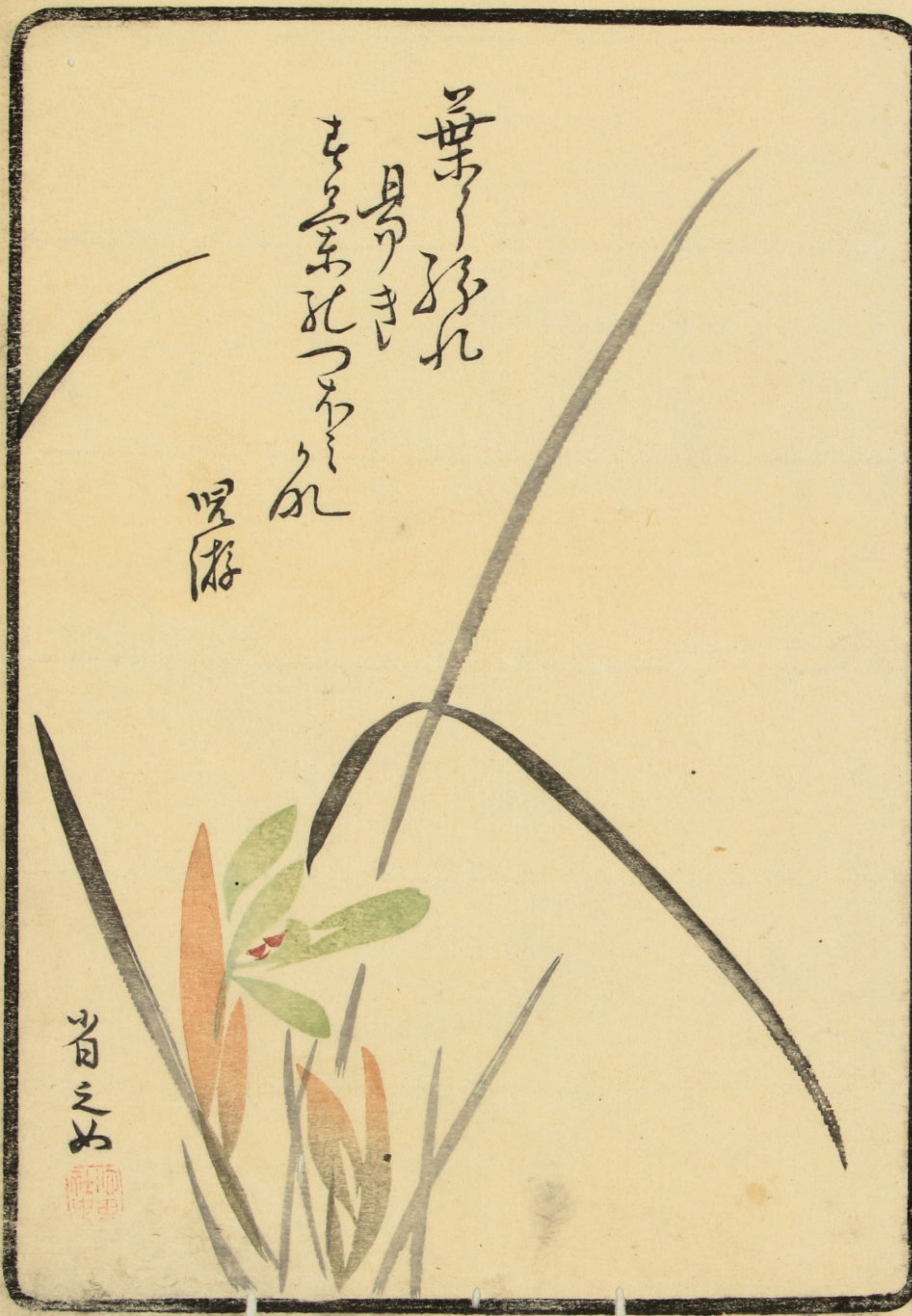
抱きしめ

竹南

其声

茶





葉子丸

身つき

まゝ糸孔つる

遊

首之如



連翹

楷子に

ひらひら

希云

翠崖



温存



札打新笠

投宿木蓮心

十一



夕夕紅巾

緜々紅巾

玉冠

同也

投宿木蓮心

温存





花魁曼州  
 亦仕立名  
 似新秋夜

竜耳



廿一  
 每  
 [Red seal]

義溪  
 [Red seal]

海棠乃也  
 四月二十一日  
 楚強





ふれい  
さくらば  
まふれ草  
如好

柯南



七五七  
さくらば  
いふふ  
かきす  
た竜


東家



大根花  
とら

まふから  
まふから

六彌


長母  




るのみを

一倍のほりぬ

曉花

長母  


松甫  




影之得也  
生々々  
也也  
九輪子  
西巻

山吹


休ませ

何

あゝあゝ

季名



松甫  




新香月

少道作

木瓜

穂

百景



松笑

なま

少餅

祝

宮  
美亭



路貞



糸いづ借頼乃 半東  
這いづゝ鬼薊




無みら  
池の空へ  
春の花  
草の花

升三  
萬靜

二葉草  
 今昔草  
 の  
 花  
 里  
 化




如  
 報  




日  
 の  
 花  
 日  
 の  
 花  
 の  
 花  
 の  
 花

少  
 可  
 及

静  
 和  


南湖



見たり程に花

期乃あ

子(子)

ふりて

草花

花

ふりて

山





竹雅



毛竹

花

子持

亀水

静和



常一羽余

花

笑園

須戸野に

戸七たて

桐乃々



牛糞



晴江

晴江

加平

元



南江





日と裁く葉心

花の如 童子

風々々

東野



花乃心 櫻之  
さくらんぼ



多分  
児子

漢漢



義溪



見乃子  
二布子

急乃子

Alumina

合部

取負

根子

乃子

義溪





白



白  
花  
中  
心  
偽  
中  
紅  
花

由  
幾

か  
ら  
な  
ら  
な  
ら  
な  
ら  
な

水



成  
章



松花



好い壁

清い瓦九十九軒

雨籠

橙乃乃中

静和

只存小室乃乃子



意文



六々  
環山



這乃海草也

似花非花也

海草



水影也

安鏡丸

美人竹

雨景并画



しんせいの  
花



うよか  
柳渚

松梅

花

雪の  
花

ゆきのはな

花



巴水





十葉打々々々々  
 人々々々々々

一園

一峰  




只々  
 子日  
 日  
 兔牙

善溪  


花のつや  
 花のつや  
 花のつや  
 花のつや



和歌  
 和歌

竹君  
 海老子  
 戸口屯  
 久々  
 所乃花



和歌  
 和歌



成章

ふらふらふらふら  
 知るるに  
 言あて



清賞堂

寂る戸此  
 表はあて  
 著者我の  
 松英

其々可也  
ほのろ月乃  
暈  
雪笑

善後



萍や花  
も何れか  
仁南

井十  
釋  
善山





泉崖



紫陽花の  
花はし踊るや

池の原

春洞

撫子わかれ  
なまの草は恒  
竜水



宮ノコシ

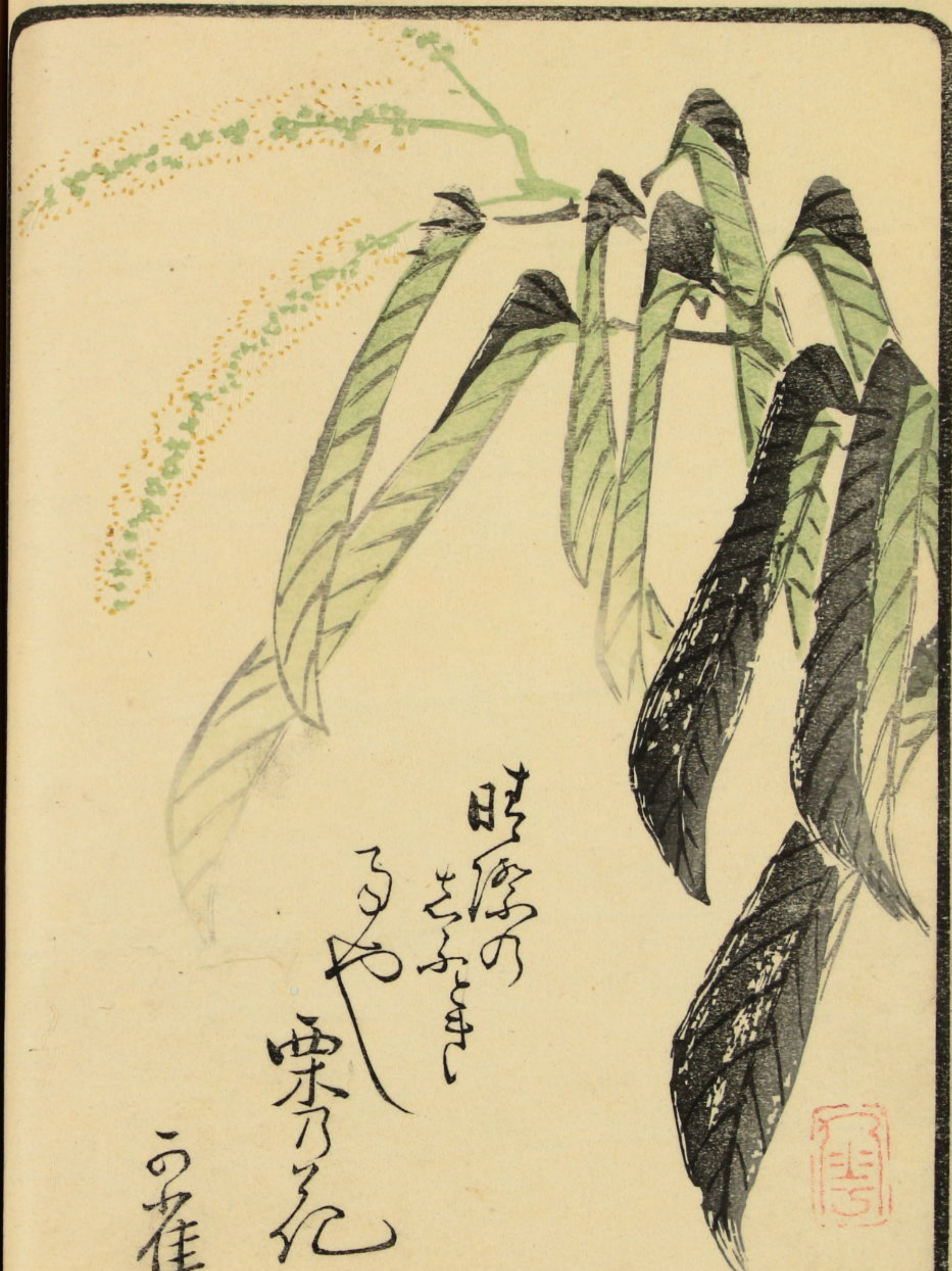
美亭



鬼杖と云ふ  
 七の字も百合の花



七の字  


時原の  
 七の字  
 栗乃花  
 七の字

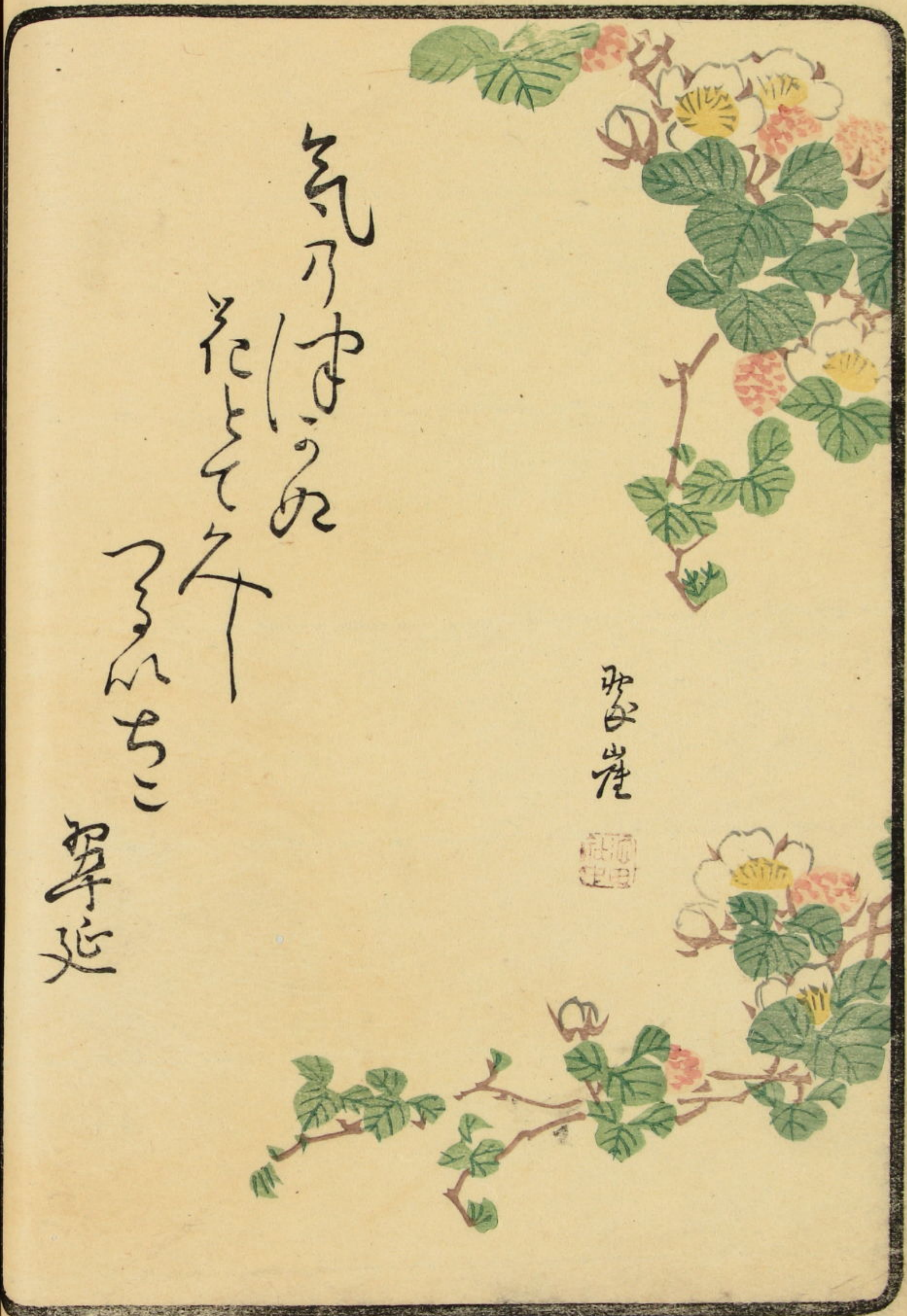




石舟や咲き  
 花はのちの  
 好ま

松甫

志  
 吳  




花は  
 花と  
 花と  
 花と

松甫



翠延



日之満る花  
 解る如可花  
 女  
 子

一峰



蓮花  
 蓮花  
 蓮花  
 蓮花  
 蓮花

蓮花  
 蓮花



葦川

夕都也

雀子

桐とる

子けし 女子枝



如春

山乃屋

小石

~~~~~

孫子名



五英





江  
河  
や  
水  
の  
泡

以  
筆

言  
力  
柳  
信  
社  
印



日  
扇  
や  
小  
人  
名  
ま  
た  
う

子  
路

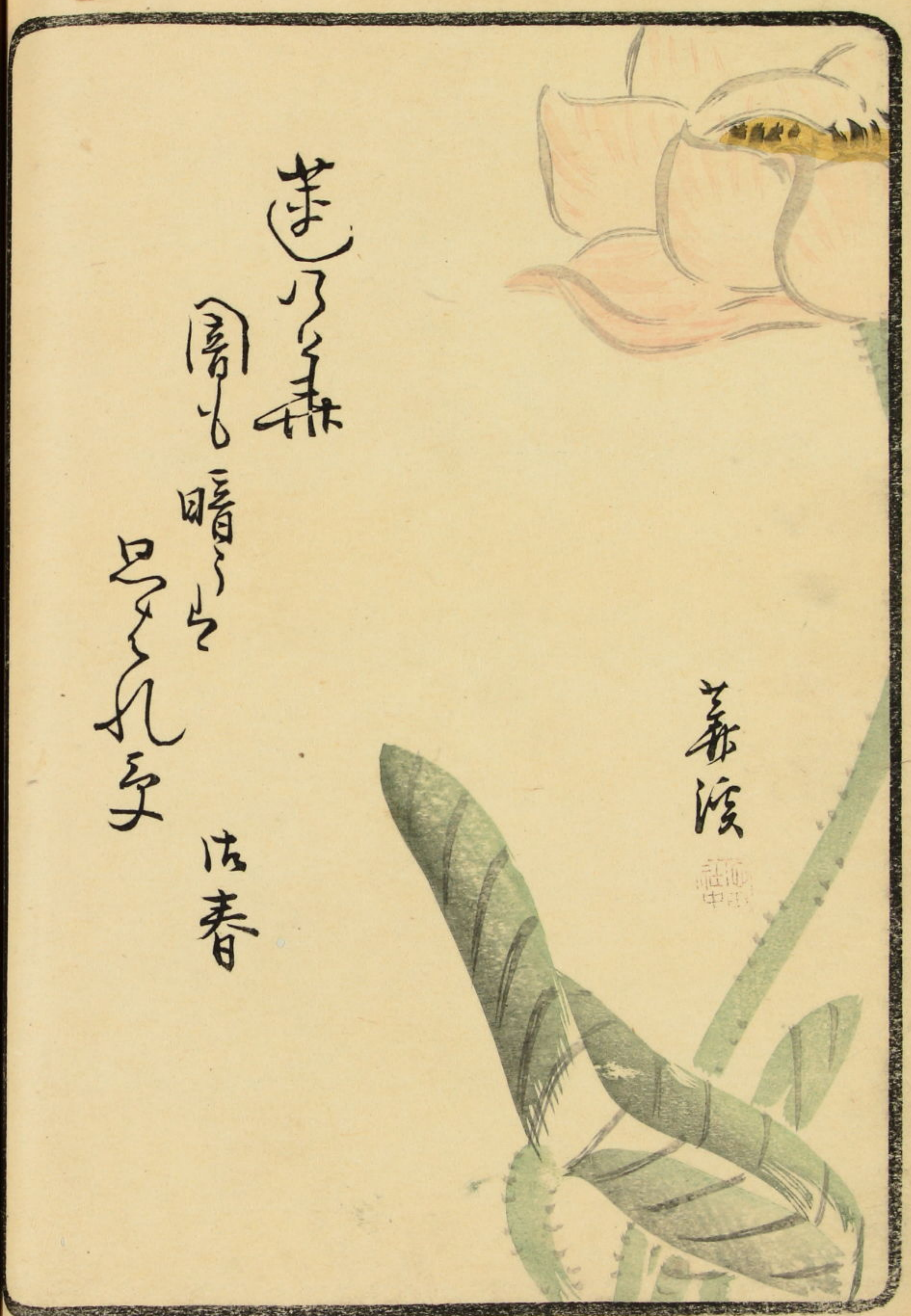
書  
印



枯也世傳  
 夕命河原

總洞

善雅  
 印

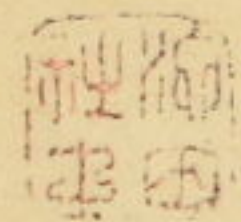


蓮乃森

園也暗  
 只之孔  
 子  
 法春

善溪  
 印

竹南



踏雪竹

一丁小水竹

氣相

乃好

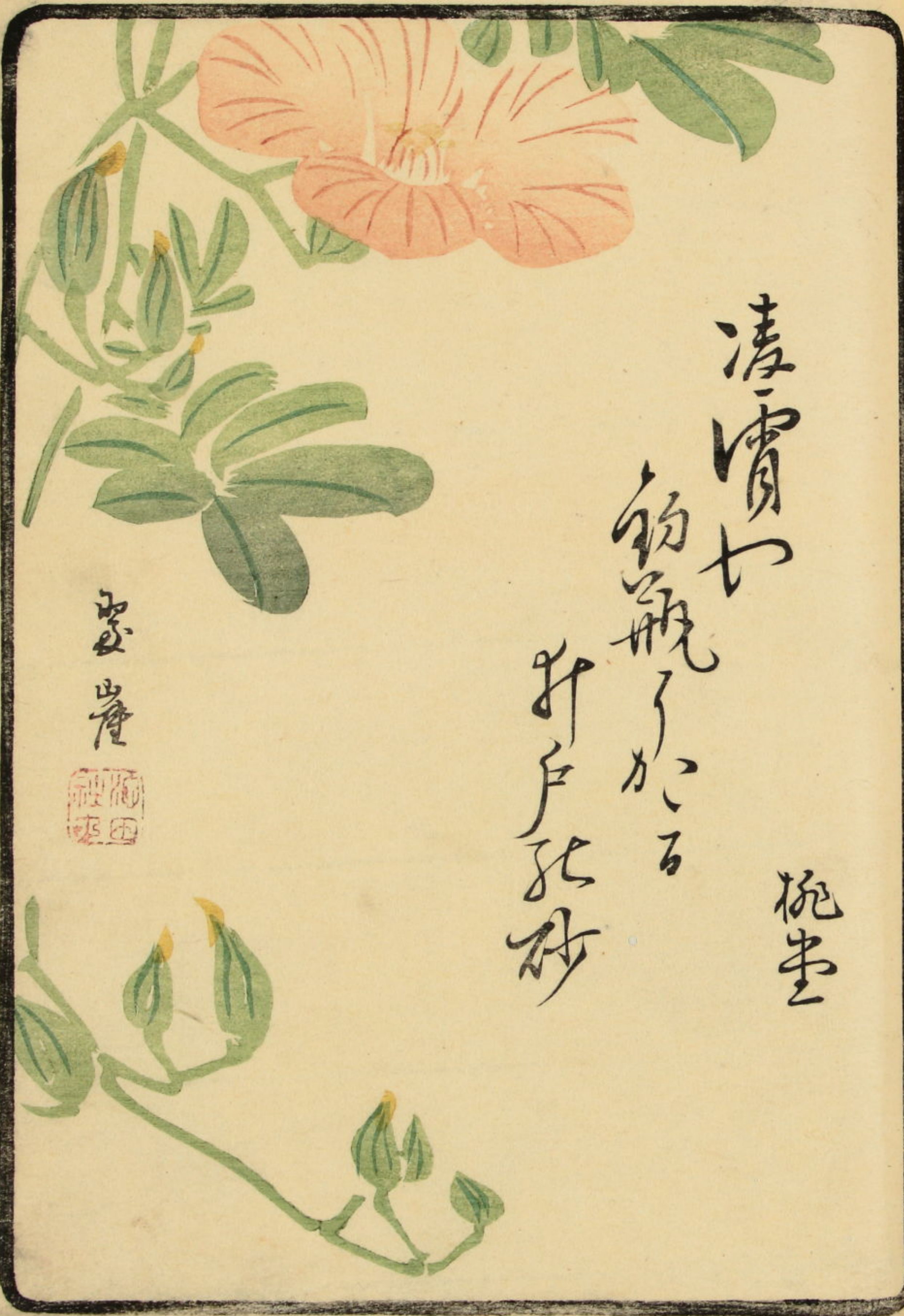
存心

心

若花竹中 起翠

梅和





凌霄花

初瓶了如石

打戶能妙

梳卷

畫堂



五竹

玉簪白字

上

經乃上

梳月

畫堂





雅なゆき  
恒あり風心  
友楽

九映

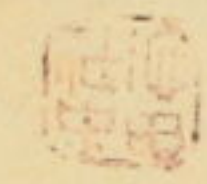


香に水  
横心  
善心

松花



香雨



七  
知  
心

送  
公  
子  
如  
中  
花

花  
静



世  
義



可  
近  
美

新  
志  
中

玉  
亭

九映



咲葉の秋海棠や

小枝の如

画林

招作る

きのり〜り

桔梗賣

白道

麻切





子々如也

花々

旭乃也

亦橙之也



章甫并画



夜々身也

夜々身也

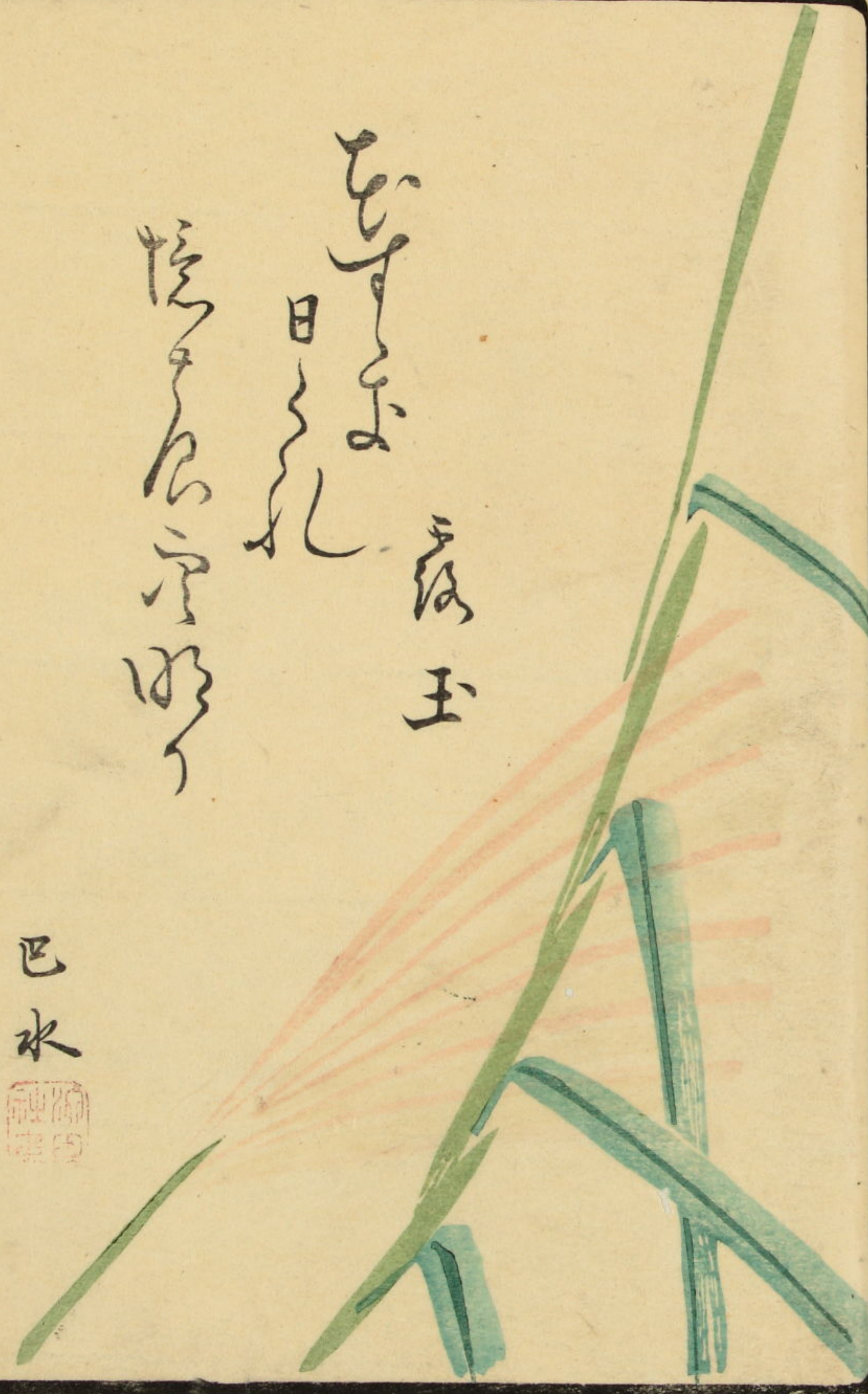
水乃也

千英



千英






正  
 日  
 花  
 玉

巴水  




残  
 东  
 草

玉  
 仙  




右乃赤花

小初を埋む

はなやぶの草

松子

井十  
釋素山



赤花



米坊子

はなやぶの草

晴中



路貞



水引の微細や  
花のしらさ

ハシカ



ハシカ

真静



昇ちゆく秋を  
貴人の夢さるる

美竹



晴溪

深汁名

刷毛

深乃や新乃

碧坡



东草

童瞳也目々

之々具々 咀々々



松南





菱川



菱川  
 花乃花  
 素梁



浪波



沃楮稜

子此  
 子此

つ  
 好

林波

苔石



妹之書

白粉乃花乳

厚錦

里方

竹好子提笛

子之世

之世

之世



見游





柯翁

雨後乃

~~~~~

我亦急

小丈



雲甫

曲突孔

火也

物也

為累乃

安

印



蘇溪



多きく米の  
石路はや

少一神

多終



山子亦るを喰

あらし

亀板を 冬健

安産

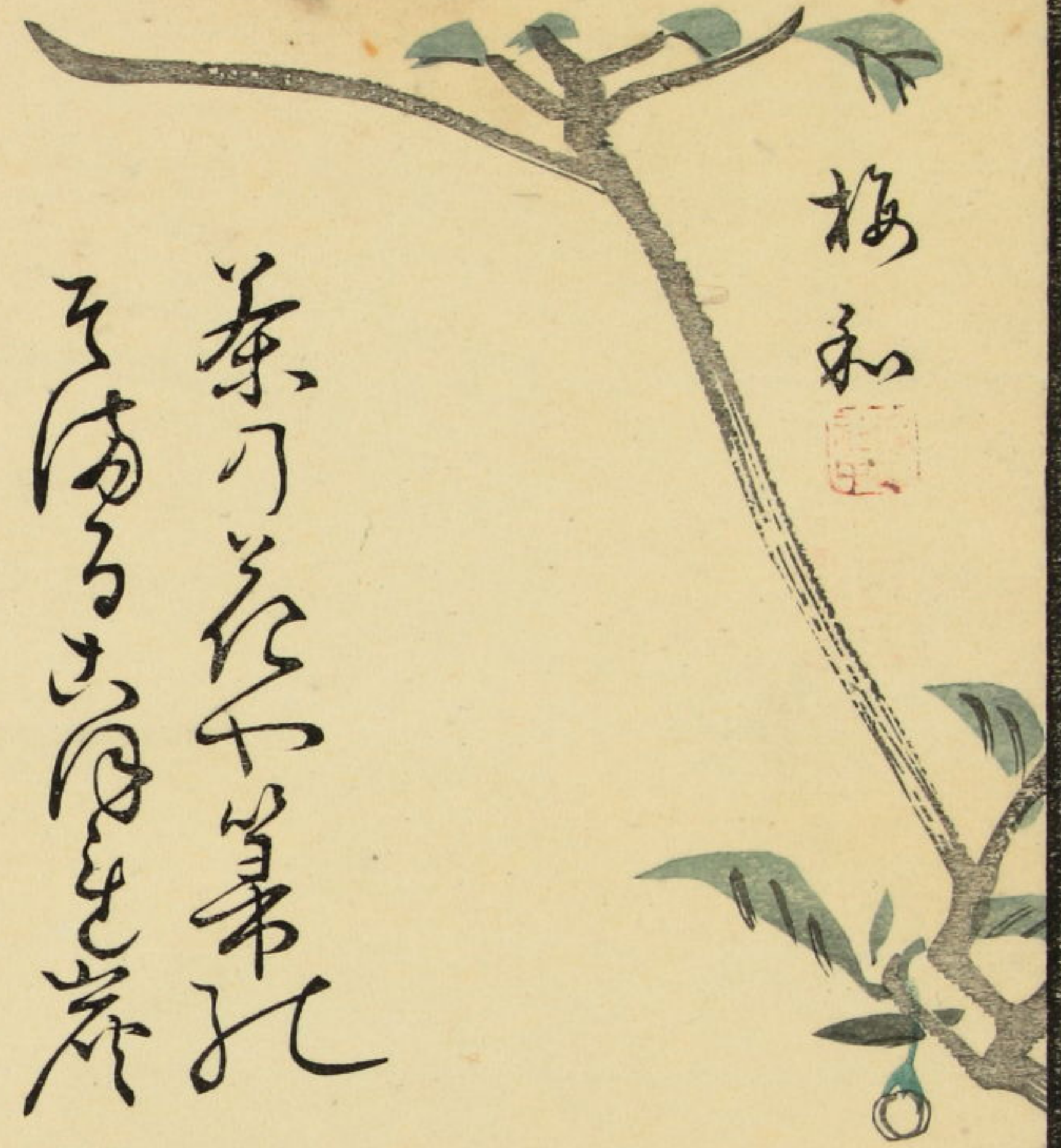


梅和



茶の花も第に  
と満るはめでたき

あまの



乙子

空の鳥も  
正月も  
返す計

翠山





朝  
 粥  
 乃  
 境  
 境  
 乃  
 水  
 仙  
 と

亀成

今石部  
 海  
 願



虫  
 英

百  
 垢  
 乃  
 つ  
 く  
 乃  
 花  
 乃  
 花

竹  
 鹿

是閑

臘梅や雪ふる

かた一日月



心景



江波	ふりそよ	梅の如き雪の如き	つらき	雪の如き	山乃峰子	古来	大雪
なみ	や	浪	ふり	そよ	梅	の	如
き	の	如	き	雪	の	如	き
の	如	き	雪	の	如	き	山
の	如	き	雪	の	如	き	乃
の	如	き	雪	の	如	き	峰
の	如	き	雪	の	如	き	子
の	如	き	雪	の	如	き	古
の	如	き	雪	の	如	き	来
の	如	き	雪	の	如	き	大
の	如	き	雪	の	如	き	雪

帆乃きむはし清くく登乃月 九毒  
打ぬ海もさしあきあきき 吹淋  
きききききききききききき

お返り書

極うううううううううううう 羽丈  
十月やあうううううううううう 季山  
極乃きむ打乃極さむや雪解氷 魚村  
人知りしあき此のうううううう 晴中  
深掃や淡おやうううううううう 雪実  
路白風吹くし月影のうううう うち  
梅候やあきあきあきあきあき ち草

夕風くさゆりぬるや夫乃何 眠譽  
薄く降るやいふ尚希くも 吳花  
移る子持を細乃何るらん 月  
くさや知乃ききくま信 影  
樹よそそ物種つるおほるらん 女  
風くさゆりぬるや夫乃何 芳意  
情乃何るに啼やふ乃皆 在好

地風やいさよふにちる木の葉 葉雪  
川風れなるとぬねをを啼水知 山  
人こよとこまよそまよふらん 暮色  
芦花雪氷をまよこまきたらん 秋草  
鴨啼や人そよふち乃見 一丈  
秋風や指つるよそ夜る雲 掬翠  
そよらると氷乃あつる櫻らん 我旅

高麗の風をきく夕飯  
冬は枯木乃柳の七重八重  
船の乃毎日皆也一夫乃有  
はこれお乃能く云や物を名に  
心乃乃疎らるく自乃れ

河内  
朝二  
三枝  
翠言  
風翹



